

※申請者名：株式会社南予ビージョイ

品目：愛媛県産水産物（真珠を除く）

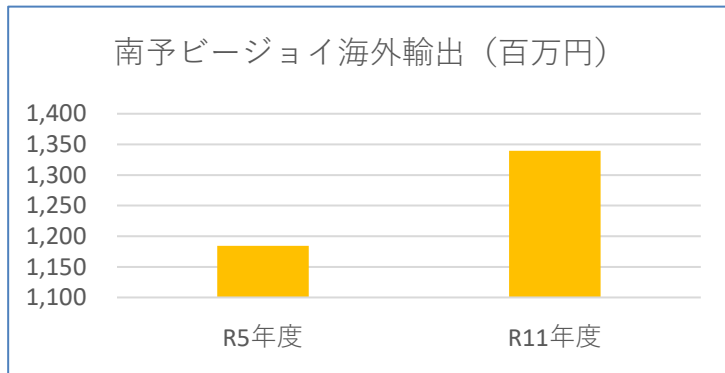
1. 輸出における現状と課題

【現状】

- 本県主力輸出商品であるブリ、マダイの生産量は全国的に近年減少傾向。
- 人口減少、少子高齢化、魚離れなどにより水産物の国内需要は減少傾向。
- 愛媛県の輸出は増加傾向、一方、コロナの影響による今後の販売動向を注視する必要あり。
 (背景) 輸送技術の進展、食品流通の国際化、都市人口の増加、スーパー等での購入増、新興国等での食生活の変化、健康志向の高まり等
 (追い風) 日本食ブーム、補助事業充実、国輸出戦略等
 (実態) 北米向けブリ伸長、韓国向け活魚伸長

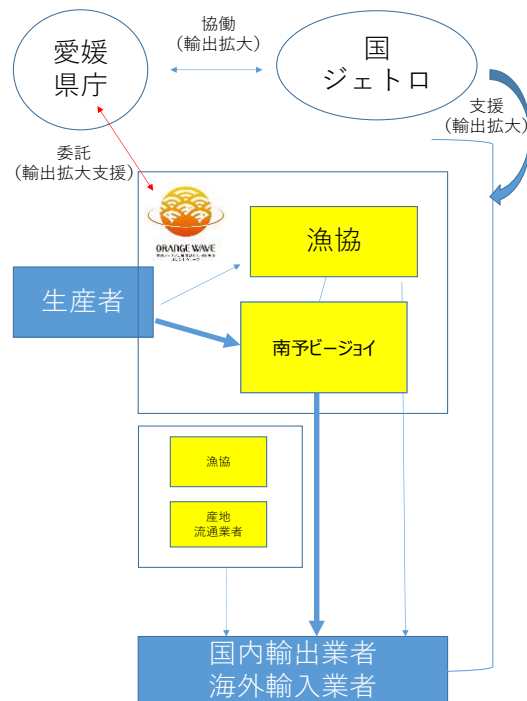
【課題】

- 輸出 ～さらなる輸出拡大に向けて～
 - ・HACCP施設の維持拡大
 - ・輸出障壁（放射性物質検査等）の撤廃
 - ・体制整備（FSMA対応等）
 - ・アイテム確保（漁業認証、戦略魚種）
 - ・認知度向上（愛育フィッシュ、EHIME JAPAN）
 - ・ビハインド（価格等）
 - ・マーケットニーズの把握



2. 輸出事業計画の取組内容

項目	対応策
HACCP輸出	<ul style="list-style-type: none"> ・HACCP施設整備、改修 ・輸出拡大に必要な機器の整備等
輸出障壁	<ul style="list-style-type: none"> ・輸出証明書の迅速な申請体制の整備
体制整備	<ul style="list-style-type: none"> ・HACCPプラン実行、FSMA対応
漁業認証	<ul style="list-style-type: none"> ・認証取得及び維持 ・現地ニーズの把握
戦略商品	<ul style="list-style-type: none"> ・愛育フィッシュ（ブリ・マダイ）
認知度	<ul style="list-style-type: none"> ・県プロモーション活動への参加 ・国（ジェトロ）と一体となったプロモーション活動への参加
ビハインド	<ul style="list-style-type: none"> ・多量多品種の強みを生かした輸出 ・共同集荷輸送の検討
マーケットニーズの把握	<ul style="list-style-type: none"> ・展示会等への参加 ・海外バイヤーやシェフ等の招聘等



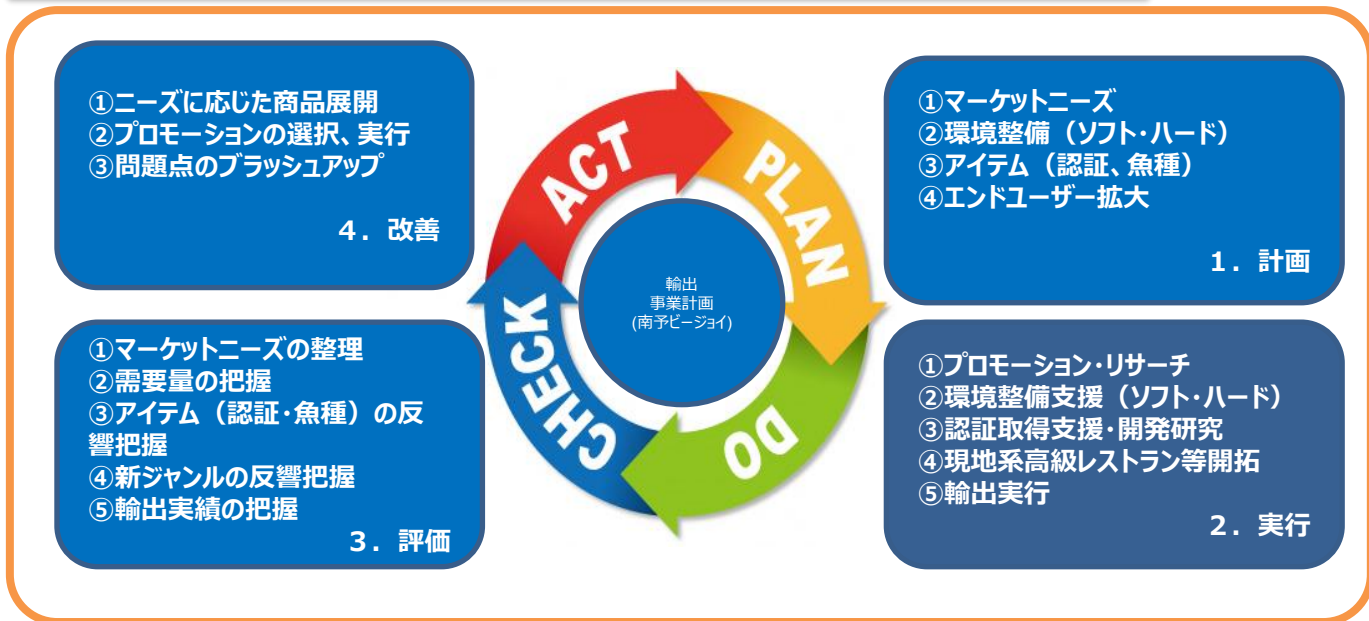
オレンジウェブを軸とした官民一体となった輸出拡大対策に取り組むこととし、国輸出戦略による拡大策と協働で愛育フィッシュの輸出を伸長。国輸出関連事業についても積極的に活用。

輸出事業計画

※申請者名：株式会社南予ピージョイ

品目：愛媛県産水産物（真珠を除く）

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

ぶり	現状（令和5年度）	目標（令和11年度）	増減
輸出額	752,622千円	865,515千円	+112,893千円
輸出量	513,000kg	589,950kg	+76,950kg
輸出先国	米国、EU、カナダ、韓国、シンガポール、タイ、ドバイ、香港	米国、EU、カナダ、韓国、シンガポール、タイ、香港	
まだい	現状（令和5年度）	目標（令和11年度）	増減
輸出額	421,383千円	459,307千円	37,924千円
輸出量	366,000kg	398,940kg	32,940kg
輸出先国	EU、韓国	EU、韓国	
その他	現状（令和5年度）	目標（令和11年度）	増減
輸出額	10,520千円	14,518千円	3,998千円
輸出量	4,600kg	6,348kg	1,748kg
輸出先国	韓国	韓国	